

各位

2020年1月17日
公益財団法人 日本英語検定協会

速報

2020年度「英検2020 1 day S-CBT」第1回検定（4月～7月実施） 予約申込者数の発表

公益財団法人 日本英語検定協会（理事長：松川孝一、所在地：東京都新宿区、以下、「英検協会」）は、2019年12月3日から12月24日まで、同年11月1日の文部科学大臣の「大学入試英語成績提供システム」の2020年度からの導入延期発表を受け、既に「英検2020 1 day S-CBT（以下、「S-CBT」）」の2020年度第1回検定（4月～7月実施）の予約申込をいただいていた方々に対しまして、予約を継続し受験を希望されるか（以下、「継続予約申込」）、またはキャンセルし返金を希望されるか、のいずれかをご決定いただき、それぞれのお手続きをいただくようご案内しておりました。また同期間中は、あいにく予約申込できなかったがS-CBTの第1回検定を受験したいと希望される皆様に向けて新たに追加予約申込も行っておりました。

詳細につきましては、ウェブサイトへアップしております、これまでのリリースをご高覧いただければと存じます。本件に関します最新のリリースは以下のとおりです。 [2020年度「英検2020 1 day S-CBT」第一回検定の対応について](#)（2019年12月18日発表）

継続予約申込、追加予約申込の各お手続きが終了し、2020年度 S-CBT 第1回検定（4月～7月実施）の予約申込者数が確定いたしましたので、速報としてお知らせさせていただきます。

■S-CBT 2020年度第1回検定（4月～7月実施）予約申込者数（継続予約申込・追加予約申込）

121,353名

なお、継続予約申込、追加予約申込それぞれお手続きいただく際、皆様には、その理由について、いくつかの選択肢からご回答いただくアンケートを行わせていただきました。英検協会としては、その集計結果は、大学入試を控える現・高校三年生、高校二年生の受験者様の現実的なお声として大変貴重なものと判断し、こちらの本リリースにてお知らせさせていただきます。次頁のアンケート結果も併せましてご高覧いただきますようお願い申し上げます。

最後に、今後の予定といたしまして、継続予約申込、もしくは追加予約申込のお手続きをいただいた皆様には、来月2月9日より、いよいよ本申込が開始されます。上述の通り、全国の多数の皆様にお手続きいただきますので、ウェブサイトの混雑を避けるため、地域別に受付開始時間を設定させていただきます。そのエリアや開始時間も含め詳細につきましては、1月29日を目途にウェブサイト上にて事前に公開させていただく予定です。ご対象の皆様は、その時期となりましたら、ウェブサイトをご確認いただきますようお願い申し上げます。またキャンセルのお手続きをいただいた皆様につきましては、ご登録いただいております対象者様のご連絡先に、1月21日を目途に返金に関するご案内をさせていただきますので、そちらをご確認いただきますようお願い申し上げます。

※継続予約申込及び追加予約申込のお手続きをしていただきました皆様に、継続予約申込／追加予約申込なさる理由につきまして、合計 12 の選択肢からご回答いただきました。そのアンケート結果は以下のとおりです。

(概要)

- ◎対象者：S-CBT の継続予約申込・追加予約申込をされた方
- ◎人数：121,353 名
- ◎期間：2019 年 12 月 4 日から 12 月 24 日
- ◎回答形式：以下の 12 の選択肢から無制限式複数回答形式

(質問内容)

継続予約申込／追加予約申込をなさる理由をご選択ください

(結果)

選択肢	内容	割合
1	大学入試に活用できるか関係なく、英検級の取得を目標にこれまで勉強してきたから	37 %
2	高校で英語学習成果の確認のために受験したいから	46 %
3	4技能の英語能力を向上させるため、技能別のCSEスコアを確認したいから	34 %
4	大学入学共通テストで英語民間試験の活用が延期になったが、志望大学でのAO入試にて英検の結果を活用する可能性があるから	43 %
5	大学入学共通テストで英語民間試験の活用が延期になったが、志望大学での推薦入試にて英検の結果を活用する可能性があるから	39 %
6	大学入学共通テストで英語民間試験の活用が延期になったが、志望大学での一般入試にて英検の結果を活用する可能性があるから	54 %
7	継続して「英検S-CBT」を受験すると選択した場合、検定料が特別料金となるから	40 %
8	従来型の英検では受験日が決まっており、部活の大会や定期考査等で受験できない可能性があり、「英検S-CBT」では、受験日のある程度自由に選択できると感じたから	35 %
9	従来型の英検では、スピーキングテストが対面式であり緊張するため、吹込み式である「英検S-CBT」での受験にメリットを感じたから	26 %
10	英検CBTでは、ライティングテストがキーボードでのタイピング入力になれていないため、手書きである「英検S-CBT」での受験にメリットを感じたから	24 %
11	学校（塾、予備校含む）の先生から継続して「英検S-CBT」を受験するようにとアドバイスがあったから	25 %
12	その他：自由記述欄	2 %

なお選択肢 12 の自由記述欄の内容につきましては、個人のプライバシーにかかわるご回答も含まれるため割愛させていただきます。